

2005年8月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 〒ト番号 8233

2005年7月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

㈱高島屋計	分社4店含む実質
0.0	0.1

7月度は百貨店事業が2ヵ月連続で前年実績を上回ったものの、広域事業が苦戦をした結果、分社4店含む実質では 0.1%と僅かに前年実績を下回った。

分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+0.7	+0.5

百貨店事業としては6月度に続き2ヵ月連続で前年実績を上回り、売上高には回復傾向が見られる。7月度はクリアランスセールや好調が続く「ケルビス」関連商品等の販売促進策を積極的に展開し、売上増大を図った。関西地区は前年実績を下回ったが、関東地区が6月を上回る伸び率で推移し、好調を持続した結果、百貨店事業18店計では+0.5%となった。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大坂店(大坂店単店)	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	0.1 (+1.0)	4.4	1.9	+0.8	8.3	6.8
入店客数	4.3	5.9	2.0	4.7	34.3	7.7

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
1.8	2.0

大坂店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

大坂店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+3.5	+2.4	+3.6	+2.3	+0.1	6.8	+0.4	+6.0
入店客数	6.9	3.0	3.2	+2.6	1.6	11.4	1.3	3.9

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+2.2	+2.3

横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は単店になります。

店別では、大坂店(単店)・東京店・横浜店・新宿店の大型4店を含めて、18店中で10店が前年実績をクリアした。大坂店(単店)・東京店・新宿店・玉川店・立川店が2ヵ月連続、横浜店・岡山店が3ヵ月連続プラス。好調が続く高崎店も5ヵ月連続で前年実績をクリアした。関西地区では、京都店が紳士衣料関連は好調であったが、特選衣料雑貨等の低迷により前年実績には至らず。岐阜店は今秋予定のリニューアルに伴う工事の影響が続いている。関東地区では、大宮店は紳士服等が好調であったが競合の影響もあり、前年実績には至らなかった。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域計
売上高	18.1	+5.1	10.8

法人事業は前年実績物件の規模縮小や中止等により、前年実績を大きく下回った。通販事業はファッション商材、リビング用品、食料品が好調で本年2月より6ヵ月連続で前年実績をクリアした。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)](前年対比、単位：%)

	分社4店除く	18店計
紳士服・洋品	+3.6	+3.3
婦人服・洋品	1.0	1.2
子供服・洋品	4.3	4.8
その他衣料品	+0.7	+0.1
衣料品計	0.2	0.5

	分社4店除く	18店計
身のまわり品	+4.5	+4.5
家具	0.4	0.6
家電	4.9	7.7
その他家庭用品	+3.0	+3.2
家庭用品計	+1.6	+1.5

	分社4店除く	18店計
食料品	+0.9	+0.7
食堂・喫茶	6.3	8.0
雑貨	7.1	6.2
サービス	3.3	1.4
その他	+2.4	+1.8
合計	0.0	0.1

当社分類による百貨店事業の商品別概況

クリアランスセール等により季節商材の動きが良く、ファッションアイテムは全般的に好調に推移した。「ケルビス」効果の続く紳士服(前年対比+5.2%)、紳士雑貨(同+2.5%)はワイシャツ・ジャケット・紳士靴等の動きが良く、6月度に続き前年実績をクリア。婦人服(同+0.4%)もヤング・キャリアゾーンが好調を持続し、カットソーやニット、ボトムスが好評で前年実績を上回った。婦人雑貨(同 0.1%)は婦人靴やハンドバッグ等が好調であったが、前年実績には僅かに届かず。特選衣料雑貨(同+3.2%)は、関西地区が競合の影響を受け苦戦したものの関東地区で2桁の売上増加となった。その他、美術(同+7.0%)、リビング(同+1.3%)、食料品(同+0.3%)が2ヵ月連続で前年実績を上回った。